

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和4年4月15日
国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所
揖斐川町役場

「高地谷第1砂防堰堤完成式」を開催します

平成元年（1988）9月の集中豪雨は記録的な豪雨となり、揖斐川町小津地区（旧久瀬村小津）を含め揖斐川流域の各地で土石流が発生し、家屋等に多大な被害をもたらしました。これを受け、国土交通省越美山系砂防事務所は、再度災害防止に向け「高地谷第一砂防堰堤」を整備してまいりました。

この度、完成を迎えることができましたので、「高地谷第1砂防堰堤完成式」を開催いたします。

1. 式典概要

日時 令和4年4月24日（日）14時00分～15時00分
場所 岐阜県揖斐郡揖斐川町小津836-2 久瀬小津公民館
共催 揖斐川町、国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所
式次第 別紙1参照
備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して開催します。

2. 取材について

申込み 取材をご希望される場合は、取材申込書（別紙2）を電子メールにてお申込みください。

駐車場 久瀬小津公民館敷地内の駐車場をご利用ください（別紙3）

その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、以下についてご協力をお願いいたします。

- ・会場内ではマスクの着用及び咳エチケットの励行。
- ・会場入口で検温を実施し、発熱等、体調の優れない方は入場をお断りします。

※当日の天候等により、中止となる場合があります。

3. 資料配布先 岐阜県政記者クラブ、越美山系砂防事務所管内（本巣市・揖斐川町）支局

4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 越美山系砂防事務所 TEL(0585)22-2161

担当者 副所長 神野 祐一 (かみの ゆういち)

副所長 加藤 誠一 (かとう せいいち)

高地谷第1砂防堰堤 完成式

令和4年 4月 24日(日)

午後2時から

式 次 第

- 一 . 開 式
- 一 . 式 辞
- 一 . 挨拶
- 一 . 祝 辞
- 一 . 来賓紹介
- 一 . 祝電披露
- 一 . 事業概要説明
- 一 . <す玉開披
- 一 . 閉 式

高地谷第1砂防堰堤完成式

取材申込書

高地谷第1砂防堰堤完成式の取材をご希望される社におかれましては、こちらの取材申込書を期限までにメールまたはFAXにて提出をお願いいたします。

送信期限 令和4年4月21日（木）16：00まで

1. 社名 _____
2. 取材記者
 - i) お名前 (代表者) _____ (ふりがなもお願いします)
 - ii) ご連絡先 電話 _____ (当日ご連絡が取れる連絡先)
 - iii) 取材人数 _____ 人 (全体)
 - iv) 駐車車両台数 _____ 台 (車種/ナンバー4桁: _____ / _____)

※注意事項

- ・報道関係者であることがわかるように腕章または名札の着用をお願いいたします。
- ・駐車場所は現地の指示に従ってください。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、本式典の取扱いについて変更する場合があります。

3. 取材登録書送信先
越美山系砂防事務所 総務課

メールアドレス cbr-etsumi@mlit.go.jp

FAX 0585-22-6971



※取材車両は参加者駐車場の区域に駐車願います。

高地谷第1砂防堰堤事業の概要

揖斐川上流域は、年間平均総雨量3,000mmを越える多雨地帯であるとともに、活断層が多数分布した脆弱な地質であり、過去に幾度も土砂災害が発生しています。

平成元年9月の秋雨前線による豪雨では、揖斐川筋で総雨量500mmを超える集中豪雨により各地で土砂災害が発生しました。特に高知川が流れる久瀬地区では、国道303号の寸断や、土石流の流入による家屋被害など甚大な被害が発生しました。

高地谷第1砂防堰堤は、下流に位置する小津地区をはじめ揖斐川本川下流域の氾濫被害を防止する目的として整備が進められ、令和4年3月に完成しました。



月尾谷の土石流



家屋に迫った土石流

高知川支川月尾谷で発生した土石流 平成元年(1989.9)

【旧久瀬村内の主な被害】

住宅の半壊1棟、床下浸水19棟、道路被害24箇所、耕地被害111箇所等 被害額約19億円
(揖斐川町資料より)

【事業の経過】

平成17年(2005年) 事業着手

平成20年(2008年) 工事着手

仮排水路トンネル (L=160m)

付替道路 (L=約1.1km 橋梁3橋)

砂防堰堤本体 (H=27m L=87m)

令和4年(2022年) 完成

高地谷第1砂防堰堤



完成全景



高地谷第1砂防堰堤

- 【施設諸元】** 所在地 : 岐阜県揖斐郡揖斐川町小津地先
河川名 : 木曾川水系揖斐川支川高知川
形式 : 砂防ソイルセメント堰堤 (主堰堤)
高さ 27m 長さ 87m
コンクリート 約7,000m³
砂防ソイルセメント 約17,000m³
(現地土砂 : 約16,000m³、セメント約1,000m³)
施設効果量 : 約85,000m³ (久瀬小津公民館 約13棟分に相当)
総工事費 : 約 24億円

※砂防ソイルセメント工法について (現地発生材の有効活用)

砂防ソイルセメント工法とは、現地発生土砂とセメントと水を混ぜた「INSEM」と呼ばれる材料を締め固めて施工する工法です。高地谷第1砂防堰堤では「主堰堤」の施工に活用しました。